

11月14日(日)開催 (山滝校区)

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>計画方針については、現在マイナスのことしかなく、実施後はプラス面しか記入されていない気がします。課題はいろいろあると思います。</p> <p>課題点について、もう少し詳しく説明の場を作るべきです。多様な考え方はそれぞれの人があると思います。</p> <p>一貫教育にすることで、メリットありますか？一貫教育にして、学力は上がりますか？(良い所もあります。現況でも)</p> <p>山滝中学校のキャバで、おぎなえますか？和泉市はキャバがあって、運営を開始しています。岸和田市は和泉市のまねですか？運動場は大丈夫ですか？</p> <p>地域、父母は不安あると思います。市として、説明会でもっとほりさげた説明を行うよう努力して下さい。</p> <p>一貫教育を行える、教員は確保出来るんでしょうか？</p>	<p>①地域・保護者の皆様が不安に思われる点や課題とされる点について、今後も十分な話し合いを重ね、その解消に向けて努めていきます。</p> <p>②小中一貫校を含む小中一貫教育については、文部科学省において実施の際の手引が示され、既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。文部科学省の調査では、H26年とH29年の調査ともに、導入済みの自治体のうち、95%を超える割合で大きな成果が認められる、または成果が認められるとの回答があり、教育的効果が期待できると考えています。一方、課題が認められるとする割合については、H26年の調査では77%であったものが、H29年では53%に減少しており、各自治体において課題を解消するための取組が構築されてきたものと考えます。今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」においても必要な対応について引き続き検討します。また、小中一貫校の設置にあたっては、国の基準による面積基準等を適切に満たすとともに、児童生徒が安心・安全に過ごすことができる環境整備を図ります。</p> <p>③小中一貫校における教職員については、国や府の基準に基づいて必要な人数が配置されますが、小・中両方の資格を持つ教職員を積極的に充てていきます。</p>
2	<p>中央、浜小学校の統廃合が先ではないのか！</p> <p>物理的、環境的に考えても、比較的早期に実施できると思われませんが、なぜ後回しになるのかが、理解できません。</p>	<p>今回の第1期計画(案)の対象となった地域は、小学校、中学校とも適正化が必要な小規模校があるのに対して、都市中核地域では、適正化が必要な小規模の中学校が存在しないため、後順位としたものです。</p> <p>中央小学校・浜小学校の適正化についても、第1期計画(案)の完了後に着手するのではなく、具体的な内容がまとまった段階で第2期計画(案)を策定し、公表していきます。</p>
3	<p>おまかせします。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
4	<p>0～15才までとなっているが、授業中、テスト中の子供の声、泣き声などの対策はどうするのでしょうか？</p> <p>うちには2才～16才までの子供がたくさんおり、テスト勉強中は夜中にしたり朝早く起きたりしています。家の中でも対策しないとイケない中、学校ではどう対策していくんでしょうか？</p>	<p>同一敷地の整備であっても、建物やフロアの区別により、就学前児童、小学生、中学生が、支障なく学び、快適に過ごすことができるよう、設計段階から様々な工夫を図ります。</p>
5	<p>少人数なら一人一人を見てくれるのでこの校区が良くてここに住んでいます。少ないからといってソーシャルスキルがない子供ではありません。</p> <p>人が増えるということはその分人間関係で問題が起こると思います。今の子供たちが楽しくすごせているのならばこのままでいいと思います。</p> <p>適正規模にしても学級見込数変わらないでしょ？ならば余計なことしないでいいと思います。</p> <p>中学生がテスト中に0才児が泣いているとかもありえるって事ですか？それは普通に考えてムリでしょ？</p>	<p>①小規模校にもたくさんのメリットがあることは承知しています。その一方でクラス替えができないため、人間関係に問題が生じたときにその解決が難しくなる、多くの多様な意見に触れて学習を深めていく集団学習の展開が制約を受けるなどといった、小規模校ゆえの課題があります。小規模校のメリットよりも、学校の適正規模を確保する必要性の方が大きいと考え、今回の適正規模・適正配置の取組を進めています。</p> <p>②(仮称)山滝小中一貫校については、再編後も適正規模の学校に満たない可能性もあることから、特認校制度の実施や、施設一体型小中一貫校のメリットを活かした異学年交流行事を多く取り入れることで、多様な考えに触れる機会を創出できるよう検討していきます。</p> <p>③認定こども園を含む、施設一体型小中一貫校にかかるご質問についてはNo.4の回答のとおりです。</p>